

免許統一求め3万人署名

全日本ふぐ連盟 厚労省に提出

フグ料理人らで組織する全日本ふぐ連盟（大田 晶子代表理事）は28日、フグ処理免許の全国統一を求めて全国3万2335人分の署名を厚労省に提出した。

処理手順認定手法
国が標準化に理解

これを受け、同省医療

・生活衛生局生活衛生・

食品安全部の道野英司監

視安全課長は2017年

度から同省がフグ処理者

の標準的な認定手法の研

究の費用を助成すること

に言及。「有毒部位除去

要望書を受け取っ

た道野課長（前列

左）と大田代表理

事（同右）

までは標準化できるので
は」とし、フグ流通広域
化や輸出に対応する観点
からフグ処理技術標準化
に前向きな姿勢を示し
た。

同連盟は、自治体ごと
に異なるフグ調理師免許
が全国的に通用しない
点、「同程度」の免許で

あれば一部では互換性
があるがその基準が明確
でない点などとして、昨
年から全国の調理師や消
費者の署名を集めてき
た。

同連盟は「試験の基本
ラインを国が示し、各自
自治体の食文化・歴史・海
域の条件などを考慮して

改正を重ねてきた条例や
要綱に従うようにする方
向性が望ましいのではな
いか」と要望した。

